

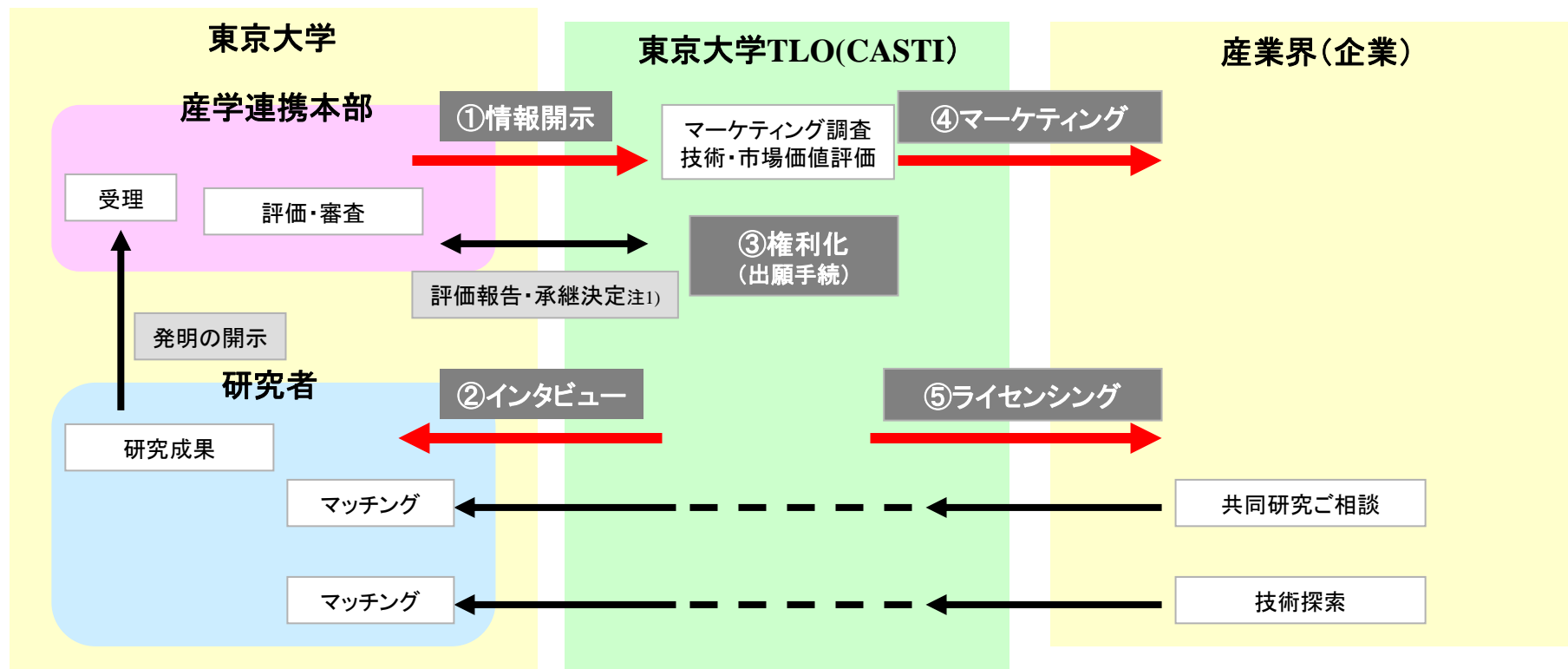
# 第二期を迎える大学の知的財産戦略 ーイノベーション創出に向けてTLOが果たすべき役割ー

本田圭子

(株)東京大学TLO 取締役

# 東大産学連携本部と東大TLOとの一体的連携によるサービス:

研究室の発明が、世の中に出ていく日まで。



# 東京大学TLOの現状と イノベーション創出に向けた今後の課題

## 現状

- 知的財産本部とTLOとの一体的な連携体制の整備
- 発明開示件数の増加
- 出願件数の増加  
 (\* 半数以上は民間企業との共同出願)
- マーケティングにおいて一案件に割ける時間の低下
- 要素技術を一機関でマーケティングを行うことの限界



## 今後の課題

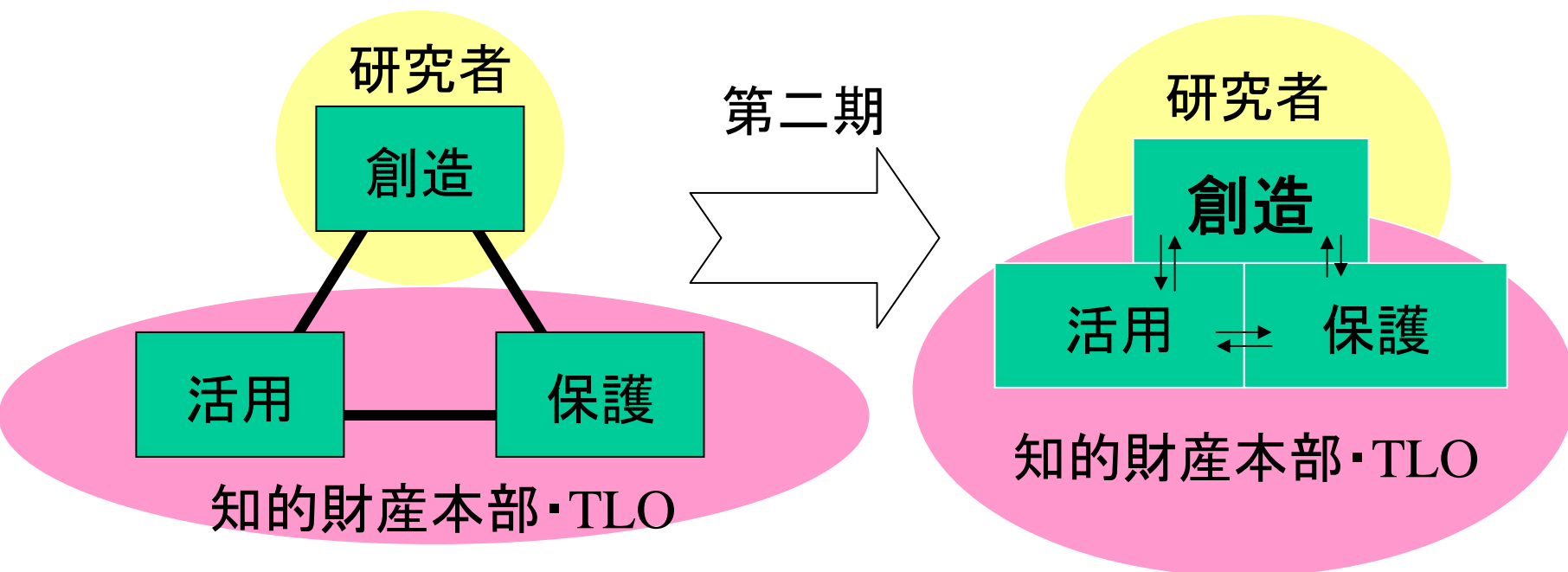
- イノベーション創出につなげる「基本特許」等を生み出し、発展させるための連携体制への深化
- 開発に要する期間、技術分野別等の視点における知財・マーケティング戦略
- 大学、地域、国などの境界を越えた柔軟なイノベーション創出のための連携の促進

# 1. 「基本特許」を生み出す体制への深化

■ 大学知的財産活動の中心 ⇒ 「技術」・「発明」

■ より優れた発明を生み出すべく、大学知財本部、TLOは  
 アカデミアの研究活動に深く係り、発明の「創造」の段階から  
 一体となった知財活動に深化させる

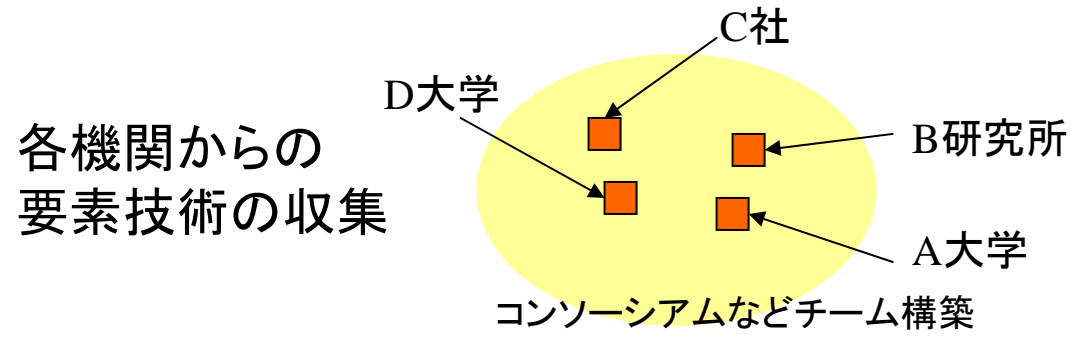
・「保護」、「活用」におけるTLO等の知識・情報(知財戦略、マーケティング情報、  
 実用化のシナリオ等)を研究に活用



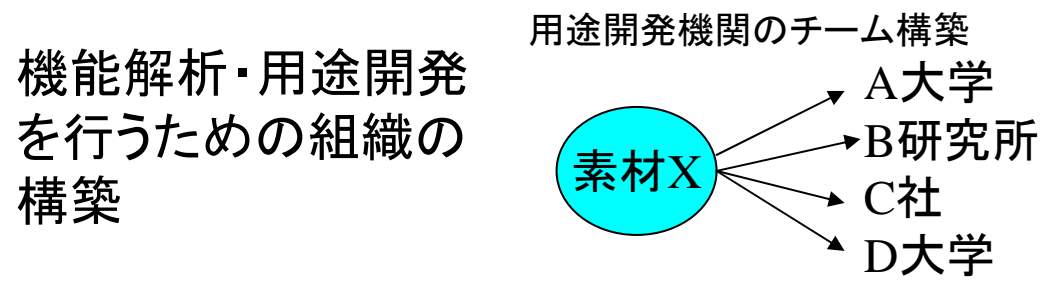
## 2. 「基本特許」へ発展させる仕組みの構築

- 初めから「基本特許」と認識できるものはほとんどない⇒「基本特許」に育てる
- 「基本特許」への育成、イノベーション創出は中長期的な視点での開発が必要
- 「基本特許」の育成等は、一機関では限界があり、分野毎に適切な開発のチーム構築が必要

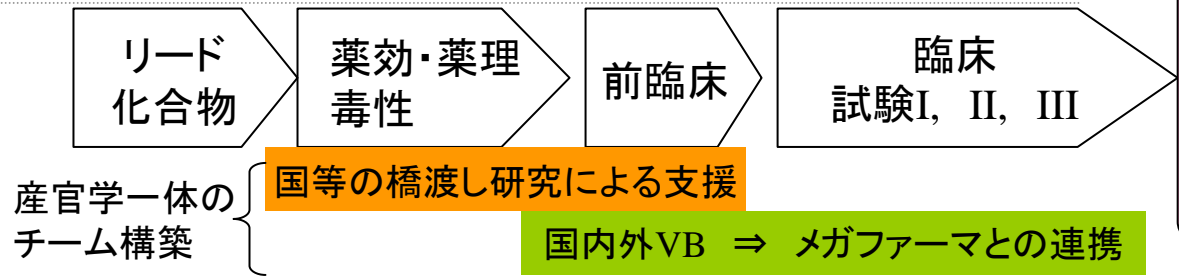
次世代デバイス  
次世代通信システム  
など



新規材料



創薬シーズ



新技術・新市場の創造

### 3. 「基本特許」の育成・イノベーション創出のために 今後必要とされる取組み

- 中長期的な視点での開発が必要とされる基本特許の育成・イノベーション創出のための国の支援および施策
  - 知財戦略と研究開発シナリオの提案の誘導
  - 産学間だけでなく、複数の公的研究機関間での実用化を目指したチーム構築の評価
  - イノベーション創出の視点からの異なる知的財産本部・TLO間の連携誘導
- 開発期間が短期的な技術についての実績の積み上げ
  - 短期的視野で開発ができる技術については集中的、効率的マーケティングにより実績を示し、アカデミアに産学連携の成果が見えるようにする
  - 個別案件としては取引が難しい技術のパッケージ化による市場価値向上
    - 細胞 /モデル動物 / 遺伝子多型情報
    - 用途未開発の化合物
- アカデミア間の研究交流促進(複数の大学等で行う開発連携の推進)
  - アカデミアの意識改革(研究室の垣根を越える)
  - 海外の公的研究機関との連携
    - 国際的な契約・交渉
    - 外国為替法などの法令遵守などのチェック機構